



道

学校の教育目標
「ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成」

コロナ禍こそ大切にしたいもの

校長 宮島 和生

先月までは、異例の暖かさが続きましたが、12月に入りようやく平年並みの気温に近づいてきました。今年も残すところ約2週間となりました。年末に向けて何かと気ぜわしくなりますが、新型コロナウイルスに加えインフルエンザも流行する時期になります、感染症対策には改めて気を引き締め、学校生活を送るよう子供たちに呼びかけています。

学校だより5号では、2学期を「心が育つ学期にしたい」とお伝えしました。運動会や学習発表会では、どの学年の児童も友達と協力して大きなことを成し遂げる喜びや達成感を感じることができました。また、なかよし班活動では、上学年が下学年に対して優しい言葉をかけたりさりげなく補助しながら一緒に遊んだりする姿がよく見受けられるようになりました。このように、今学期は子供たちの心の育ちが目に見える学期であったと思います。



<学習発表会の一コマ>

さて、先日心が温かくなる出来事がありました。登校途中の児童が歩道に落ちていた筆箱を拾って届けてくれました。中身を確認すると小学生の持ち物ではなさそうでしたので、中学生かもしれないと思い、早月中学校に筆箱の写真を送り全校生徒に聞いてもらいました。しかし、残念ながら持ち主は現れませんでした。ところが数日後、中学校から「自分（中学生）のお兄さん（高校生）の筆箱であることが分かった」と、言っている生徒がいると連絡が入りました。持ち主の高校生は、筆箱を落として大変困っていたそうです。本校の児童が拾ってくれた筆箱は、無事に持ち主のもとに届けられました。

物があふれる世の中になり、ちょっとした落とし物に無関心になっているのは、子供ならずとも大人もそうです。しかし、落とし主は不自由しているのではないかと他人の困り感を想像したり、対面していない人の気持ちを考えたりする力は、いつの世の中でも大切なことです。特に今は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、マスクで人の表情が読み取れなかったり、不安から人の心が歪められたりするような時代です。人の心の痛みや苦しみを想像できる思いやりをもった子供たちに育てていかなければならないと強く思いました。

25日（金）からは、冬季休業に入ります。子供たちにとっては、夏季休業同様に感染症対策で不自由な休みとなりますが、年末年始には家族とともに安全安心な生活を送ってほしいと思います。そして、新年が子供や保護者の皆様にとってよい年となるように、担任をはじめ全ての職員で願っております。

アクションプランの取組経過について（お知らせ）

今年度も、子供たちが、より充実した学校生活を送ることができるように“アクションプラン”を設定し、取り組んでいます。これまでの経過をお知らせします (12月1日現在)

	重点課題	数 値 目 標	目標達成率
1	好ましい学習習慣の形成	・80%以上の児童が「自主学習ノート」の年間目標ページ数に取り組む。 低学年 60 ページ（1冊）（2学期は30 ページ） 中学年 90 ページ（1.5冊）（2学期は50 ページ） 高学年 120 ページ（2冊）（2学期は60 ページ）	「自主学習ノート」2学期の達成率 (全) 91.7%
2	しっかりと靴をそろえる児童の育成	・90%以上の児童が、下足箱の靴を揃える。	達成率 (全) 87.7%
3	進んで体力づくりに取り組む児童の育成	・100%の児童が、「日本一周マラソン」を達成する。	長崎県(79番)までの達成率 (全) 96.0%

【考察及び今後の取組】

【学習指導】

2学期末の「自主学習ノート」達成率 (低) 94.2% (中) 91.0% (高) 91.4%

「自分から進んで学習する」の目当てをもとに、自主学習に取り組んだノートのページ数を評価した。

2学期の達成率は全校で91.7%（1学期は81.3%）と、大きな向上が見られた。自主学習ノートコーナーを教室に設置し、友達自主学習ノートを見合えるようにしたり、取り組み方を紹介したりしたことで、取り組み方が1学期と比べて向上してきたと考えられる。また、自主学習ノート表紙「進んで!学ぶ!富山っ子! (株式会社チューエツ寄贈)」の活用も効果的であった。カラフルな表紙には、取り組み方が記載されており、児童は、「間違えやすい漢字を練習する」「教科書の問題をもう一度解いてみる」等、自分のことから取り組み、自ら学習する経験を積むことができた。表紙には目当てを書く欄もあり、「自信をもってテストに挑みたい」等の思いから、ちょっとした時間に自主学習に取り組む児童も見られた。「自主学習→宿題ではない(やらなくてもよい)」から「自主学習→自分をパワーアップさせてくれるもの」と価値付けられている児童が出てきたようだ。さらに、今後も、進んで学習するよさを児童が感じられるよう手立てを取っていきたい。

【生活指導】

靴をそろえる達成率 (低) 87.6% (中) 92.6% (高) 84.4%

「自分から進んで靴を揃える」の目当てをもとに、朝、登校後の靴が揃っているかどうかを今学期中に5回チェックし、その内4回以上正しく揃っていれば達成とした。

2学期の達成率は、87.7%だった。1学期に比べると、達成率が6.1ポイント上がった。しかし、90%という目標を達成することはできなかった。その原因として、指導が不十分だったことが考えられる。3学期は、①担任が靴を揃えていた子への賞賛を今まで以上に行う、②担任がチェック日の予告をするなど、日常的に呼びかけを行っていくようにしたい。

【体力づくり】

「日本一周マラソン」(愛知県まで)達成率 (低) 97.5% (中) 95.1% (高) 96.9%

2学期は、全校児童が「日本一周マラソン」の「長崎県(79マス目)」まで到達することを目標にした。コロナウイルス感染症対策のため、昨年行っていたマラソンタイムは中止とし、体育科の時間の最初5分をウォーミングアップと兼ねて走ったり、なわとびをしたりして運動に取り組むようにした。

達成率は全校で96.0%で、100%という目標を達成することはできなかった。1学期の93.0%を少し上回ることができた。100%に達しなかった原因は、①運動会の練習や、学習発表会の練習により、体育科の時間が減ったり、体育科は行ったが走る時間を十分にとることができなかつたりしたこと、②取り組みカードの塗り忘れにより、どこまで塗ればよいのか分かっていない児童が多くいたことであると考えられる。

3学期も、①担任が今まで以上にカードへの記入を呼びかける、②スポーツ委員会から運動への呼びかけや、カードの記入を呼びかける機会を増やす、③雨天により、体育館を走る場合は、体育館2周でグラウンド1周分と考えて、ぬることができるようにする、④カードの2枚目は水色、3枚目は黄色の紙にして、意欲を引き出すことに、引き続き取り組んでいきたい。

今後も一人一人が目標達成できるよう励ましていきたいと思っております。ご協力をお願いします。